



# ふじみ議会だより

改選後における第400回富士見町議会臨時会は、5月9日に開催されました。議長・副議長・各組台議会議員の選挙が行われ、これから2年間の役員が決まりました。



議会副議長  
**小林節子**

このたび新世富士見町議会の方向付けをする大事な時に、私、はからずも副議長の大役を仰せつかり就任することになりました。微力ではありますが、最大限の努力をいたす覚悟でございます。さて今回私に与えられた職務は、町民の皆様からの多くのご意見やご要望が確実に町政に反映されて、その結果、住民参加による町づくりができるような、健全な議会運営をすることであると、心を新たに致しております。ところで最近、地方の時代つまり



議会議長  
**植松米作**

極めて深刻な不況下で、21世紀の幕が開けて3年、町議会には、諏訪六市町村合併問題や、少子高齢化社会の進展による福祉・医療・教育・環境の問題等、百年の計を決めていく重要な課題が山積しています。つまりこれからどのような地域社会を創っていくのか、我々の子供たちや孫たちのために、何を残し、何を伝えていくべきかが命題であります。

今、地方分権の時代を迎え「自分達の街は、自分達で創る」という住民自治の原点に立ち返り、我々議会の議員

## 議長就任あいさつ

像としては、単なる形式的な地域の役職者と考えるのではなく、地域形成についての“パートナー”としての認識を持つことです。そして町民の参加を得て、要求課題を共有し民意の反映に努めるとともに、町民への積極的な情報の提供を行う努力をします。また議会活動の活性化も同時に進め、町民との信頼関係をさらに積み上げてまいります。議会は町長とともに町民の代表であり、両者が節度ある幅を保ちながら「車の両輪」となれるよう、町民の皆様のご協力をお願い致します。

## 副議長就任あいさつ

地方分権が大きく叫ばれている中で、私たちのまわりの社会情勢も大きく変化しつつあります。私たち議会も時の流れに合った改革を行い、新しい運営を推進することこそが、住民の望んでいる町政に合致するものだろうと思っております。

このためにも私は、議会と行政とが両輪の輪となれるような議会運営に最善の努力を尽くしたいと考えています。おわりに、皆様のご指導・ご協力を心よりお願い申し上げます。副議長就任の挨拶とさせていただきます。